

高知県感染症発生動向調査（週報）

2012年 第34週（8月20日～8月26日）

お知らせ

○ マイコプラズマ肺炎に注意して！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の0.38から0.50と増加しました。報告定点以外の医療機関からの患者情報も報告されています。マイコプラズマ肺炎はかかった人のせきやくしゃみなどのしぶきに含まれる病原体によって人から人へ感染します。潜伏期は通常2～3週間で、初発症状は発熱、全身倦怠、頭痛などです。咳は初発症状出現後3～5日から始まることが多く、経過に従い咳は徐々に強くなり、解熱後も長く続きます（3～4週間）。感染を拡げないためには、咳エチケットと手洗いをするのが大切です。

○ 百日咳に注意して！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の0.40から0.47と増加しました。百日咳菌の飛沫により感染し、約1週間（7～10日程度）の潜伏期間を経て、風邪症状が続く（カタル期：約2週間）、徐々に咳が強くなっていきます。その後、連続した咳の最後に大きく息を吸い込み、痰を出しておさまるという症状を繰り返します（痙咳期：約2～3週間）。激しい咳は徐々におさまりますが（回復期：2～3週間）、回復まで2～3ヶ月かかることがあります。予防接種は生後3～12月を目標に行う第1期初回3回と、その12～18ヶ月後に行う第1期追加接種、11～13歳未満でDT二種混合ワクチンを接種する第2期がセットになっています。かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く接種期間内に必要回数受けておく事をお勧めします。

○ 流行性耳下腺炎に注意して！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の0.20から0.40と増加しました。おたふくかぜ患者の唾液に含まれるムンプスウィルスによる飛沫感染、接触感染により感染し、その感染力はかなり強いです。手洗いを徹底し、うがいもしましょう。予防接種がありますが、自費で受ける任意接種ですので、かかりつけ医と相談してください。

★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）

：急増

：増加

：横ばい

：減少

：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数（人）	県内の傾向
感染性胃腸炎		1. 6 3	中央西で増加したが、全体では減少している。
水痘		0. 5 3	安芸で増加したが、全体では減少している。
突発性発疹		0. 5 3	中央西、安芸、幡多、高知市で増加し、全体でも増加している。
マイコプラズマ肺炎		0. 5 0	高知市で増加し注意報値を超している。全体でも増加し、注意報値を超している。
百日咳		0. 4 7	中央西、中央東で増加し、全体でも少し増加している。須崎では警報値を、中央西では注意報値を超している。

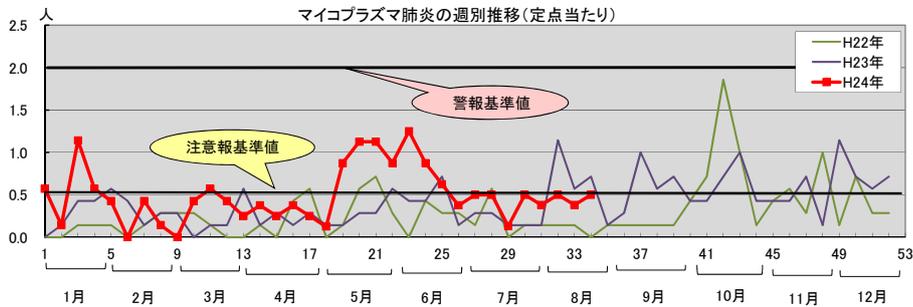
★ 地域別感染症発生状況



★ 気を付けて！

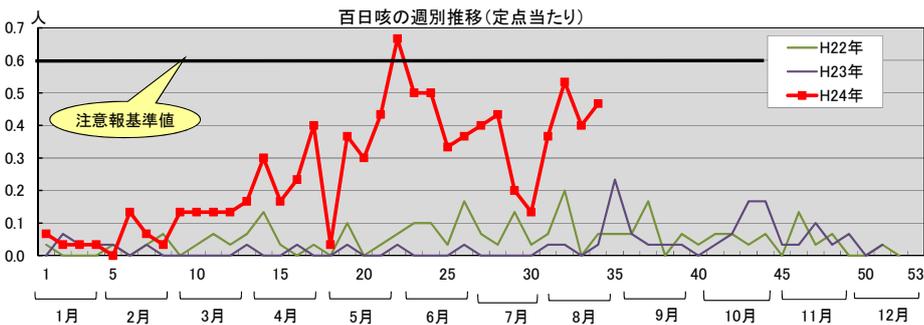
○ マイコプラズマ肺炎：0.50（注意報値：0.50 警報値：2.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり 0.50（前週：0.38）と増加し、注意報値を超している。高知市 0.80 では注意報値を超している。病原体定点からは、肺炎マイコプラズマ (*Mycoplasma pneumoniae*) が 20 例検出されている。感染を拡げないために、手洗い、うがいなどの一般的な予防方法の励行と、患者との濃厚な接触を避けるように気を付けましょう。



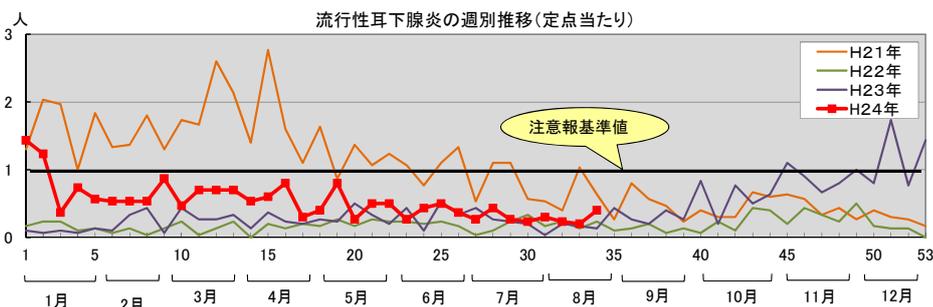
○ 百日咳：0.47（注意報値：0.60 警報値：1.00）

定点医療機関からの報告は定点当たり 0.47（前週：0.40）と増加した。中央西 0.67、中央東 0.57 で増加し、須崎 2.00 では警報値を、中央西では注意報値を超している。例年と比較すると高い値が続いており、病原体定点からは百日咳菌 (*Bordetella pertussis*) が 15 例検出されている。飛沫が周囲に飛び散るのを防ぐ、咳エチケットを徹底することが重要です。



○ 流行性耳下腺炎：0.40（注意報値：1.00 警報値：3.00）

定点医療機関からの報告は定点当たり 0.40（前週：0.20）と増加した。幡多で 1.40 と増加し、注意報値を超している。濃厚接触を避け、一般的な予防法である手洗いうがいを励行しましょう。



★ 病原体検出情報

前週搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
34	発熱、好中球減少、上気道症状	14	女	中央東	B19 virus
34	不明発疹症	1	男	須崎	Coxsackievirus A12
34	上気道炎	29	女	中央東	Coxsackievirus A2
34	百日咳	2ヶ月	男	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>
34	百日咳	1	男	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>
34	マイコプラズマ	11	女	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>
34	百日咳	1ヶ月	女	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>
34	百日咳	11	女	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>
34	百日咳	5ヶ月	女	安芸	<i>Bordetella pertussis</i>
34	百日咳	2	男	中央東	<i>Bordetella pertussis</i>
34	マイコプラズマ	4	女	中央東	<i>Bordetella pertussis</i>
34	百日咳	15	男	中央東	<i>Bordetella pertussis</i>
34	百日咳	2ヶ月	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
34	百日咳	6ヶ月	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
34	百日咳	3ヶ月	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
34	百日咳	6	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
34	百日咳	4	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
34	マイコプラズマ	4	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
34	マイコプラズマ	2	女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
34	マイコプラズマ	20	男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
34	マイコプラズマ肺炎	5	女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
34	マイコプラズマ肺炎	9	女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
34	マイコプラズマ	12	女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
34	マイコプラズマ肺炎	6	男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
34	マイコプラズマ	13	女	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
34	マイコプラズマ	37	男	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
34	マイコプラズマ	14	男	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
34	マイコプラズマ	12	男	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
34	マイコプラズマ	2	女	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
34	マイコプラズマ	7	女	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
34	マイコプラズマ	5	女	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
34	百日咳	2	男	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
34	百日咳	12	男	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
34	百日咳	8	男	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
34	マイコプラズマ	10	女	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
34	百日咳	5	女	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
34	百日咳	4	男	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
34	百日咳	5	女	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
32	突発性発疹症	1	女	須崎	Human herpes virus 6
32	ウイルス気管支炎	10ヶ月	女	中央東	Parainfluenza virus NT
32	ウイルス気管支炎	10ヶ月	女	中央東	Rhinovirus
33	発熱、白血球、血小板減少	8	男	中央東	B19 virus
33	熱性痙攣	3	女	中央東	B19 virus
33	急性気管支炎	1ヶ月	男	高知市	Coxsackievirus A12
33	不明発疹症	4ヶ月	男	須崎	Coxsackievirus A12
33	ヘルパンギーナ	2	男	須崎	Coxsackievirus A12
33	不明発疹症	8ヶ月	男	須崎	Coxsackievirus A9
33	不明発疹症	7ヶ月	女	須崎	Coxsackievirus A9
33	熱性痙攣	3	女	中央東	Human herpes virus 6
33	不明発疹症	29	女	須崎	Human herpes virus 7
33	不明発疹症	10	女	須崎	Human herpes virus 7
33	細気管支炎	8ヶ月	男	高知市	Rhinovirus

* 「保健所」について、患者の居住地を管轄する保健所名を記載する。

★ 全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2 類	結核	2	94	70 歳代 (女)	安 芸
				90 歳代 (女)	高知市
4 類	日本紅斑熱	1	1	70 歳代 (女)	安 芸
	レジオネラ症	1	6	80 歳代 (女)	高知市

全数報告削除

類型	疾病名	件数	報告週	内 容	保健所
2 類	結核	1	32w	90 歳代 (女)	高知市

★ 定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	早明浦病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1 例 (4 歳男)
	吉本小児科皮膚科	キャンピロバクター腸炎 1 例 (11 歳男) 百日咳 2 例 (2、15 歳男 LAMP 法にて検出)
	あけぼの小児クリニック	マイコプラズマ肺炎 7 例 (2、5、7、12、12、14、37 歳 全て LAMP 法陽性) 百日咳 1 例 (4 歳女 DPT×4 済み、LAMP 法陽性)
高知市	けら小児科・アレルギー科	百日咳 2 例 (前週 : 29 歳男 LAMP 法陽性、今週 : 39 歳女 LAMP 法陽性) 病原性大腸菌 O-1 1 例 (9 歳男)、 病原性大腸菌 O-111 1 例 (2 歳男) サルモネラ O-9 1 例 (3 歳女) マイコプラズマ肺炎 3 例 (6、9 歳女、5 歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	マイコプラズマ肺炎 2 例 (1、4 歳女)
	細木病院小児科	マイコプラズマ (+) 1 例 (1 歳女)
中央西	くぼたこどもクリニック	ムンプス 1 例 (6 歳男 須崎市)、 水痘 1 例 (9 歳男 ワクチン接種済)
	石黒小児科	帯状疱疹 1 例 (24 歳男)
	日高クリニック	マイコプラズマ肺炎 1 例 (6 歳女) 百日咳 1 例 (9 歳女 PT : 253 FHA : 75)
須 崎	もりはた小児科	33w カンピロバクター腸炎 2 例、 百日咳 4 例 (LAMP 法陽性) アデノウイルス扁桃炎 1 例 (2 歳男)、 帯状疱疹 1 例 (9 歳女) マイコプラズマ肺炎 1 例 (11 歳女)
幡 多	さたけ小児科	膿痂疹 3 例 (0、1 歳男、3 歳女)、 キャンピロバクター腸炎 1 例 (2 歳男) マイコプラズマ感染症 1 例 (10 歳男)

★ 全国情報

第32週 (8/6～8/12)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核388例

3類感染症：細菌性赤痢6例、腸管出血性大腸菌感染症246例

4類感染症：チクングニア熱1例、つつが虫病1例、デング熱2例、日本紅斑熱2例、マラリア1例、ライム病1例、レジオネラ症9例

5類感染症：アメーバ赤痢21例、ウイルス性肝炎2例、急性脳炎3例、クロイツフェルト・ヤコブ病4例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症7例、後天性免疫不全症候群20例ジアルジア症3例、梅毒14例、破傷風2例、風しん66例、麻しん12例

報告遅れ：デング熱1例、急性脳炎3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例

◆腸管出血性大腸菌感染症 (2012年8月15日現在)

2012年の腸管出血性大腸菌感染症報告数は、第18週までは30例以下の報告が続き、第19週から増加し始めた。第22週以降に大阪府で保育所の給食を原因とした食中毒 (026 VT1) が発生した影響で、第23週に156例と一時的なピークを形成した。その後第24～29週までは横ばいで、第30週から再び増加し始め、第30週124例、第31週153例で、第32週は246例であった。本年第32週までの累積報告数1,782例は、2000年以降の各年の同週までの累積報告数と比較して2003年、2000年に次いで3番目に少ない報告数である (2000年1,740例、2001年2,779例、2002年1,924例、2003年1,300例、2004年1,976例、2005年1,872例、2006年1,894例、2007年2,169例、2008年2,116例、2009年1,857例、2010年2,173例、2011年2,411例)。また、患者 (有症状者) に絞った累積報告数は、2007年以降*と比較すると1,072例で最も少なく (2007年1,460例、2008年1,432例、2009年1,227例、2010年1,418例、2011年1,675例)、2000年以降と比較しても2003年 (757例) に次いで2番目に少ない。

第1～32週の累積報告数1,782例について都道府県別にみると、大阪府 (193例) が最も多く、次いで福岡県 (130例)、岡山県 (119例)、東京都 (111例)、愛知県 (99例)、鹿児島県 (85例)、北海道 (83例) の順となっている。

性別では男性848例、女性934例、年齢群別では0～9歳628例 (うち5歳未満438例)、10～19歳250例、20～29歳245例の順に多かった。

第29週以降に起きた集団発生として、特に保育施設における集団感染が目立っており、第29週に宮崎県 (026 VT1) と鹿児島県 (0111 VT1) で、第31週に岐阜県 (0111 VT1)、岡山県 (026 VT1)、佐賀県 (026 VT1) で、第32週に長野県 (026 VT1) と宮崎県 (0111 VT1・VT2) でそれぞれ報告されている。

また、食中毒として第29週に福岡県で仕出し弁当による食中毒 (0157 VT1・VT2) が発生した。第32週には北海道で白菜の浅漬けを原因とした食中毒 (0157 VT1・VT2) が発生し、高齢者関連施設内での集団発生を含め、道内の広域にわたり感染者が報告されており、そのうち2例の死亡が報告されている。

腸管出血性大腸菌感染症の重篤な合併症である溶血性尿毒症症候群 (HUS) は、第32週までに累計38例 (男性19例、女性19例) 報告されており、年齢群別では0～4歳19例、5～9歳8例、10～14歳1例、15～64歳4例、65歳以上6例であった。死亡例は4例 (4歳女性1例、70代男性1例、80代女性2例) 報告されており、すべて0157 (VT1・VT2 2例、VT2のみ2例) の感染であった。

例年の状況から、発生のピーク時期と考えられ、引き続き予防対策の徹底が必要である。食肉の十分な加熱処理などにより、食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが重要である。特に、保育施設における集団発生が多くみられており、日ごろからの注意として、オムツ交換時の手洗い、園児に対する排便後・食事前の手洗い指導の徹底が重要である。また、簡易プールなどの衛生管理にも注意を払う必要がある。さらに、過去には動物とのふれあい体験での感染と推定される事例も報告されており、動物との接触後の十分な手洗いにも注意が必要である。

* 腸管出血性大腸菌感染症の届出基準は、2006年4月よりHUS発症例に限って、菌分離されていなくても、便からのVT検出あるいは血清でのO抗原凝集抗体又は抗ペロ毒素抗体の検出によって診断した場合に届出することとなった。

.....

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第34週 平成24年8月20日(月)～平成24年8月26日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(33週)	高知県(34週未累計) H24/1/2～H24/8/26	全国(33週未累計) H24/1/2～H24/8/19
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多					
インフルエンザ	インフルエンザ						()	1 (0.02)	1,155 (0.25)	16,406 (341.79)	1,628,752 (331.65)	
小児科	咽頭結核膜炎			1	3		5 (0.17)	7 (0.23)	888 (0.30)	124 (4.13)	35,144 (11.19)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	7	1	2	13 (0.43)	19 (0.63)	1,696 (0.57)	1,640 (54.67)	199,331 (63.48)	
	感染性胃腸炎	1	13	25	8	1	49 (1.63)	81 (2.70)	6,656 (2.22)	6,169 (205.63)	736,335 (234.50)	
	水痘	3		6	1		16 (0.53)	24 (0.80)	1,354 (0.45)	1,737 (57.90)	134,684 (42.89)	
	手足口病			1		1	3 (0.10)	1 (0.03)	1,936 (0.65)	90 (3.00)	34,644 (11.03)	
	伝染性紅斑		2	4		1	7 (0.23)	14 (0.47)	187 (0.06)	779 (25.97)	17,822 (5.68)	
	突発性発疹	1		8	5	1	16 (0.53)	10 (0.33)	1,366 (0.46)	473 (15.77)	57,454 (18.30)	
	百日咳		4	4	2	4	14 (0.47)	12 (0.40)	80 (0.03)	286 (9.53)	2,693 (0.86)	
	ヘルパンギーナ	1	1	6	3		13 (0.43)	30 (1.00)	3,568 (1.19)	658 (21.93)	93,329 (29.72)	
	流行性耳下腺炎			3	2		12 (0.40)	6 (0.20)	1,080 (0.36)	576 (19.20)	50,348 (16.03)	
RSウイルス感染症		1	1			2 (0.07)	3 (0.10)	978 (0.33)	627 (20.90)	30,621 (9.75)		
眼科	急性出血性結膜炎						()	()	5 (0.01)	()	349 (0.51)	
	流行性角結膜炎			1			1 (0.33)	1 (0.33)	393 (0.59)	27 (9.00)	12,176 (17.93)	
基幹	細菌性髄膜炎						()	1 (0.13)	9 (0.02)	7 (1.00)	304 (0.65)	
	無菌性髄膜炎						()	()	22 (0.05)	15 (2.14)	521 (1.12)	
	マイコプラズマ肺炎			4			4 (0.50)	3 (0.38)	529 (1.14)	145 (20.71)	13,149 (28.22)	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			1			1 (0.13)	()	31 (0.07)	10 (1.43)	531 (1.14)	
計 (小児科定点当たり人数)	6 (3.00)	22 (3.14)	72 (6.00)	25 (8.34)	10 (5.00)	21 (4.20)	156 (4.99)		21,933	29,769 (780.42)	3,048,187	
前週 (小児科定点当たり人数)	18 (9.00)	28 (4.01)	96 (8.44)	17 (5.66)	22 (10.75)	32 (6.00)		213 (6.91)				

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(33週)	高知県(34週未累計) H24/1/2～H24/8/26	全国(33週未累計) H24/1/2～H24/8/19
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多					
インフルエンザ	インフルエンザ							0.02	0.25	341.79	331.65	
小児科	咽頭結核膜炎			0.09	1.00		0.20	0.17	0.23	0.30	4.13	11.19
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.14	0.64	0.33	1.00	0.40	0.43	0.63	0.57	54.67	63.48
	感染性胃腸炎	0.50	1.86	2.27	2.67	0.50	0.20	1.63	2.70	2.22	205.63	234.50
	水痘	1.50		0.55	0.33		1.20	0.53	0.80	0.45	57.90	42.89
	手足口病			0.09		0.50	0.20	0.10	0.03	0.65	3.00	11.03
	伝染性紅斑		0.29	0.36		0.50		0.23	0.47	0.06	25.97	5.68
	突発性発疹	0.50		0.73	1.67	0.50	0.20	0.53	0.33	0.46	15.77	18.30
	百日咳		0.57	0.36	0.67	2.00		0.47	0.40	0.03	9.53	0.86
	ヘルパンギーナ	0.50	0.14	0.55	1.00		0.40	0.43	1.00	1.19	21.93	29.72
	流行性耳下腺炎			0.27	0.67		1.40	0.40	0.20	0.36	19.20	16.03
RSウイルス感染症		0.14	0.09				0.07	0.10	0.33	20.90	9.75	
眼科	急性出血性結膜炎									0.01	0.51	
	流行性角結膜炎			1.00				0.33	0.33	0.59	9.00	17.93
基幹	細菌性髄膜炎								0.13	0.02	1.00	0.65
	無菌性髄膜炎								0.05	0.05	2.14	1.12
	マイコプラズマ肺炎			0.80				0.50	0.38	1.14	20.71	28.22
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			0.20				0.13	0.07	0.07	1.43	1.14
計 (小児科定点当たり人数)	3.00	3.14	6.00	8.34	5.00	4.20	4.99			780.42		
前週 (小児科定点当たり人数)	9.00	4.01	8.44	5.66	10.75	6.00		6.91				

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869